



2026年1月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH  
東京税関羽田税関支署

## 羽田空港貨物取扱量

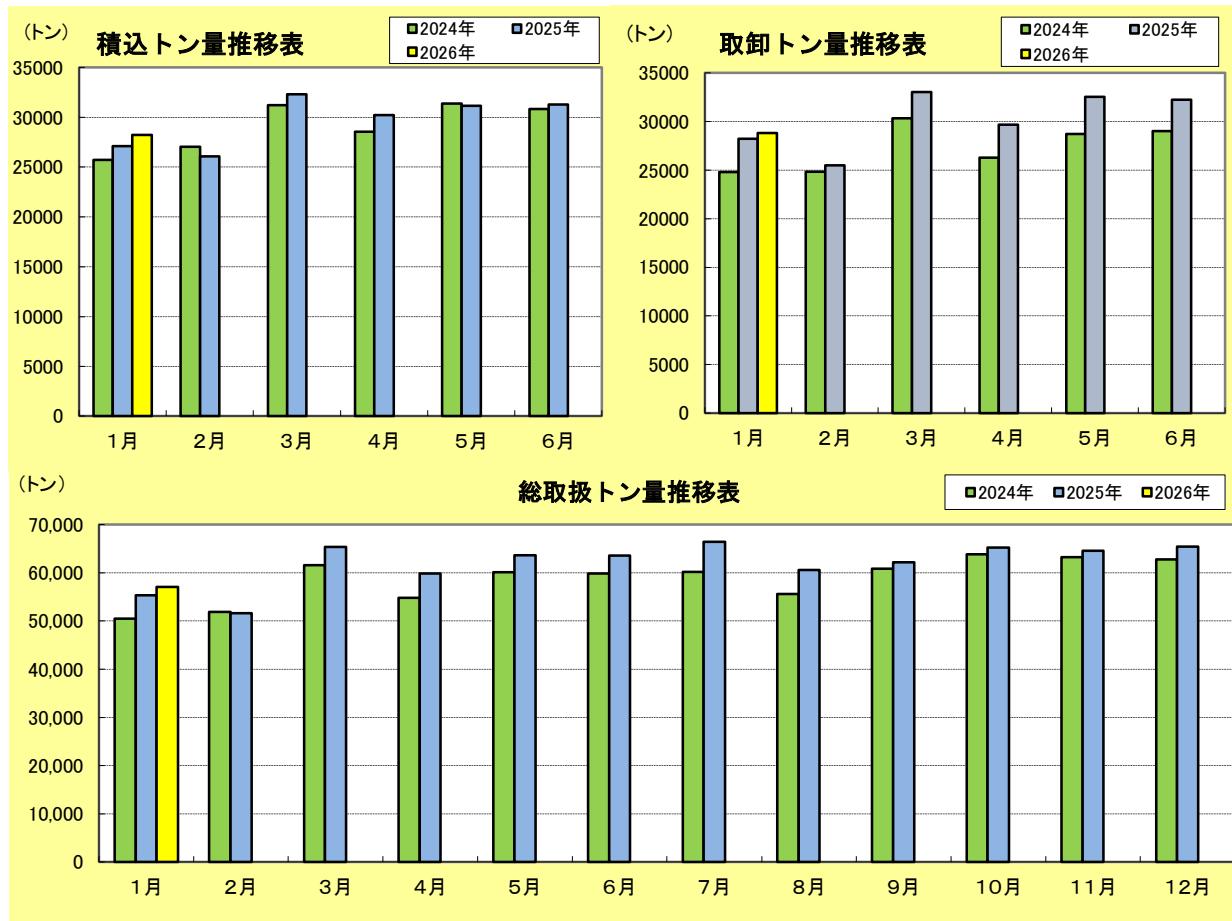
総取扱量が11カ月連続でプラス

## 概要

2026年1月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量	57,049トン	(対前年同月比)	3.1%増)
積込量	28,244トン	(同)	4.1%増)
取卸量	28,805トン	(同)	2.0%増)

となり、対前年同月比でみると、総取扱量は11カ月連続でプラス、積込量は8カ月連続でプラス、取卸量は38カ月連続でプラスとなった。



- 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
- 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



## 地域別通関動向

### ● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 1,720トン(対前年同月比 37.9%増、シェア 13.8%)

その他地域通関 10,740トン( 同 5.1%増、 同 86.2%)

となり、対前年同月比でみると、羽田通関は17ヵ月連続でプラス、その他地域通関は9ヵ月ぶりのプラスとなった。

### ● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 8,962トン(対前年同月比 12.8%増、シェア 58.5%)

その他地域通関 6,354トン( 同 6.8%減、 同 41.5%)

となり、対前年同月比でみると、羽田通関は2ヵ月連続でプラス、その他地域通関は3ヵ月ぶりのマイナスとなった。



## 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 15,784トン(対前年同月比 0.8%増)

取卸量 13,489トン( 同 0.1%増)

となり、対前年同月比でみると、積込量は3ヵ月連続でプラス、取卸量は10ヵ月連続でプラスとなった。



## 生鮮・ドライ取卸貨物動向

2026年1月の羽田空港で輸入された貨物(羽田通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,467トン(対前年同月比 22.4%増、シェア 16.4%)

ドライ貨物 7,495トン( 同 11.2%増、 同 83.6%)

となつた。

生鮮貨物の内訳は、果物48.5%(対前年同月比34.7%増)、水産物29.7%(同28.2%増)、野菜等9.1%(同3.8%増)、植物(切花等)5.9%(同21.8%減)等となつた。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2026年1月			2025年1月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	8,962	112.8%	100.0%	7,942	122.1%	100.0%
生鮮	1,467	122.4%	16.4%	1,199	115.1%	15.1%
ドライ	7,495	111.2%	83.6%	6,743	123.4%	84.9%